

モニタリング結果報告書

施設 西湘地区体育センター

指定管理者 BSC・三洋装備グループ

施設所管課 スポーツ課

(平成23年度 上半期)

管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況（1～9の結果を踏まえ、判定してください）

B

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
4月	5月9日	5月31日	月報により適正に行われていると認められる。
5月	6月9日	6月23日	同上
6月	7月11日	7月22日	同上
7月	8月10日	8月26日	同上
8月	9月12日	9月29日	同上
9月	10月11日	10月21日	同上

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

現行の毎週休場から、月に一度（年末年始を除く）に変更して開場日の拡大。（毎月第4月曜日のみ休所）

※条例に定める休場日：月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土・日・休日を除く）、年末年始

<実施状況>

提案どおり、休場日を毎月第4月曜日のみとすることにより、利用可能日の拡大を図った。

4月：3日

5月：5日

6月：3日

7月：3日

8月：4日

9月：3日

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	25,765 (25,765)	17,765 (17,765)	8,000 (8,000)		25,765 (25,765)	0
上(下)半 期予算額						
4月	2,505	1,579	926		2,285	220
5月	2,255	1,457	798		2,008	247
6月	2,230	1,466	764		2,060	170
7月	2,263	1,468	795		2,362	△99
8月	2,266	1,479	787		2,021	245
9月	2,311	1,466	845		1,960	351
今年度 半期計	13,830	8,915	4,915		12,696	1,134
前年度 同期計	13,685	8,915	4,770		13,262	423

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

- ①～③該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

⇒該当なし

10万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。

2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	—	—
下半期	—	—
総額	—	—

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
4月	10,161人	6,846人	48.4%
5月	10,024人	9,862人	1.6%
6月	11,439人	9,982人	14.6%
7月	14,065人	9,756人	44.2%
8月	11,019人	8,300人	32.8%
9月	8,357人	9,255人	△9.7%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	—人	65,065人	54,001人	—%	20.5%
今年度下半期計	—人	—人	—人	—%	—%

利用状況に関する意見等

①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①上半期の利用者が増加したのは、震災の影響で他の施設が利用できない為、当施設に集中したこと、各会場での大会利用が多かったことと思われる。また、土日祭日の天候が比較的良かったことも挙げられる。

②該当なし

5 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	4(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	4(0)
5月	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)
6月	4(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	4(0)
7月	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)
8月	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)
9月	5(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	5(0)
合計	22(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	22(0)

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。

⇒該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

⇒該当なし

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

⇒該当なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			
月 日			

9 上（下）半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>2年目の指定管理業務ですが、昨年度のアンケート結果をもとに反省、改善し、レベルアップを目指し業務を行っている。</p> <p>施設管理運営の面は、経年劣化や災害による故障、破損などが多く見られるが、簡易的な修繕等は実施しており、安心して利用してもらえよう確実に定期点検を実施し安全な利用に努めている。</p> <p>利用者対応の面では、「お客様」としての対応を職員全員が常に心掛けている。今後は、お待たせしない対応、スピードアップした接客に努めている。</p> <p>夏の節電対策では、来館者の理解と協力を得て、問題なく運営する事が出来た。</p> <p>全体的には、上半期の業務実施状況は良好に運営できているものとする。</p>
施設所管課	<p>指定管理2年度目に入り管理運営も軌道に乗って、昨年度同期と比較して経費の節減を図りつつも、利用人数は増加している。また、特筆すべき苦情もなく、施設・備品の修繕対応、利用者の安全確保にも配慮しており、管理にあたり大きな問題も起きていないため、全体として適正な管理運営が行われていると考える。</p>